

つつじ類

「つつじ類」には「アザレア」「おおむらさき」「くるめつつじ」「さつき」「しゃくなげ」が含まれる。

———— 発病・加害時期
===== 発病・加害最盛期

作型・病害虫名							月											
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
も	ち	病																
褐	斑	病																
ツ	ツ	ジ	グ	ン	バ	イ												
ベ	ニ	モ	ン	ア	オ	リ												
コ	ガ	ネ	ム	シ	類													

もち病

留意事項

- 1 SDHI剤<7>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 被害部はほ場外に持ち出し処分する。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を散布する。
 - ・ [Zボルドー](#) <M1> 【500倍 —／—】
 - ・ [バシタック水和剤75](#) <7> 【1000倍 発病初期／8回】

褐斑病

防除方法

- 1 被害葉はほ場外に持ち出し処分する。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 発病前～発病初期／6回】
- 3 発病したら、下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【樹木類 1000～1500倍 発病初期／5回】

ツツジゲンバイ

留意事項

- 1 幼虫・成虫とも葉裏に生息しているので、薬液散布の際は葉裏を中心に散布する。

防除方法

- 1 発生を認めたら、下記の薬剤を施用する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) <3A> 【2000倍 —／6回】
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4A> 【2000倍 発生初期／5回】
 - ・ [オルトラン水和剤](#) <1B> 【1500倍 発生初期／5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [ガゼット粒剤](#) 劇 < 1 A >
【10g／株(但し、18kg/10aまで) 株元散布 生育期／1回】
- ・ [モスピラン粒剤](#) < 4 A > 【3～6kg／10a 株元散布 発生初期／1回】
- ・ [アドマイヤー1粒剤](#) < 4 A > 【6kg／10a 株元散布 発生初期／5回】

ベニモンアオリンガ

留意事項

- 1 幼虫が新芽やつぼみに食い入り、内部を食い荒らす。新芽周辺を探しても見つからないことが多い。1匹で多くの芽をかじるので被害の割に虫は少ない。
- 2 翌年のつぼみができる7～8月の発生に注意する。

防除方法

- 1 被害芽はほ場外に持ち出し処分する。
- 2 新芽のしおれや赤枯れの発生がみられたら、下記の薬剤を散布する。
 - ・ [オルトラン液剤](#) < 1 B > 【250～500倍 発生初期／5回】
 - ・ [チューリサイド水和剤](#) < 1 1 A > 【1000倍 発生初期／－】

コガネムシ類

防除方法

- 1 苗木の定植時に幼虫が生息している場合には、下記の薬剤を施用し、土壌とよく混和する。
 - ・ [フォース粒剤](#) 劇 < 3 A >
【コガネムシ類幼虫 9kg／10a 全面土壌混和 植付時／1回】
 - ・ [アクタラ粒剤5](#) < 4 A >
【コガネムシ類幼虫 9kg／10a 全面土壌混和 植付時／1回】
【コガネムシ類幼虫 9kg／10a 株元散布 生育期／1回】
 - ・ [オンコル粒剤5](#) < 1 A >
【コガネムシ類幼虫 9kg／10a 全面土壌混和または株元土壌混和 定植時／1回】
【コガネムシ類幼虫 9kg／10a 全面土壌混和または株元土壌混和 生育期／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。